

メール送信ができないときは

2017 年 3 月 22 日からのシステム変更において、セキュリティ確保のため、メール送信ができなくなる場合があります。

POP-Before-SMTP(※)の対応が廃止になるため、本手順書ではメールソフトごとに、POP-Before-SMTP の設定になっているかの確認方法と SMTP 認証方式(SMTP-AUTH) (※)への変更手順を記載します。((※)巻末[解説](#)参照)

目次

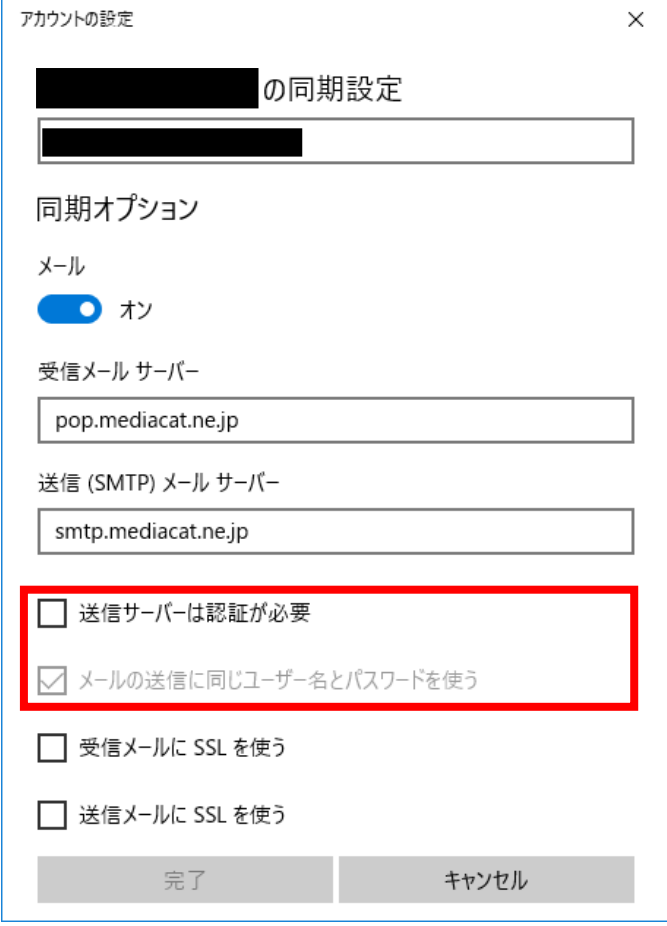
1	Windows	2
1.1	Windows 10 メール	2
1.1.1	確認方法	2
1.1.2	変更手順	3
1.2	Windows Live メール.....	4
1.2.1	確認方法	4
1.2.2	変更手順	5
1.3	Outlook Express 6.....	7
1.3.1	確認方法	7
1.3.1	変更手順	8
1.4	Outlook 2016	10
1.4.1	確認方法	10
1.4.2	変更手順	11
1.5	Outlook 2013	12
1.5.1	確認方法	12
1.5.2	変更手順	13
1.6	Outlook 2010	14
1.6.1	確認方法	14
1.6.2	変更手順	15
1.7	Outlook 2007	16
1.7.1	確認方法	16
1.7.2	変更手順	17
1.8	Becky! Internet Mail Ver.2	18
1.8.1	確認方法	18
1.8.2	変更手順	18
1.9	Thunderbird.....	19
1.9.1	確認方法	19
1.9.2	変更手順	19
2	Mac	20
2.1	メール 10.x.....	20
2.1.1	確認方法	20
2.1.2	変更手順	21
3	iOS.....	22
3.1	iOS 10.x (iPhone)	22
3.2	iOS 10.x (iPad).....	22
3.2.1	確認方法	22
3.2.2	変更手順	22
4	Android.....	23
4.1	Android 6.x.....	23
4.1.1	確認方法	23
4.1.2	変更手順	24

1 Windows

1.1 Windows 10 メール

1.1.1 確認方法

- ① Windows10 メール を立ち上げます。
- ② 画面左下の「設定」  アイコンをクリックします。
- ③ 「アカウント」をクリックします。
- ④ メディアキャットのアカウントをクリックします。
- ⑤ 「アカウントの設定」画面が表示されます「メールボックスの同期設定を変更」をクリックします。
- ⑥ 「メールボックスの詳細設定」をクリックします。
- ⑦ Windows10 メールは、メールソフトとしては、POP-Before-SMTP の設定はありません。「送信サーバーは認証が必要」のチェックが外れた状態で、受信操作を行ったあと、送信操作を行った場合に「POP-Before-SMTP」として認証されます。このまま、設定の変更を行ってください。



アカウントの設定

の同期設定

同期オプション

メール

☒ オン

受信メール サーバー

pop.mediakat.ne.jp

送信 (SMTP) メール サーバー

smtp.mediakat.ne.jp

☐ 送信サーバーは認証が必要

☒ メールを送信に同じユーザー名とパスワードを使う

☐ 受信メールに SSL を使う

☐ 送信メールに SSL を使う

完了 キャンセル

1.1.2 変更手順

- ① 「送信 (SMTP) メール サーバー」のオプションにチェックを入れ、「完了」をクリックします。

アカウントの設定

の同期設定

同期オプション

メール

オン

受信メール サーバー

pop.mediakat.ne.jp

送信 (SMTP) メール サーバー

smtp.mediakat.ne.jp

☒ 送信サーバーは認証が必要

☒ メールを送信に同じユーザー名とパスワードを使う

☐ 受信メールに SSL を使う

☐ 送信メールに SSL を使う

完了 キャンセル

- ② 「保存」をクリックします。

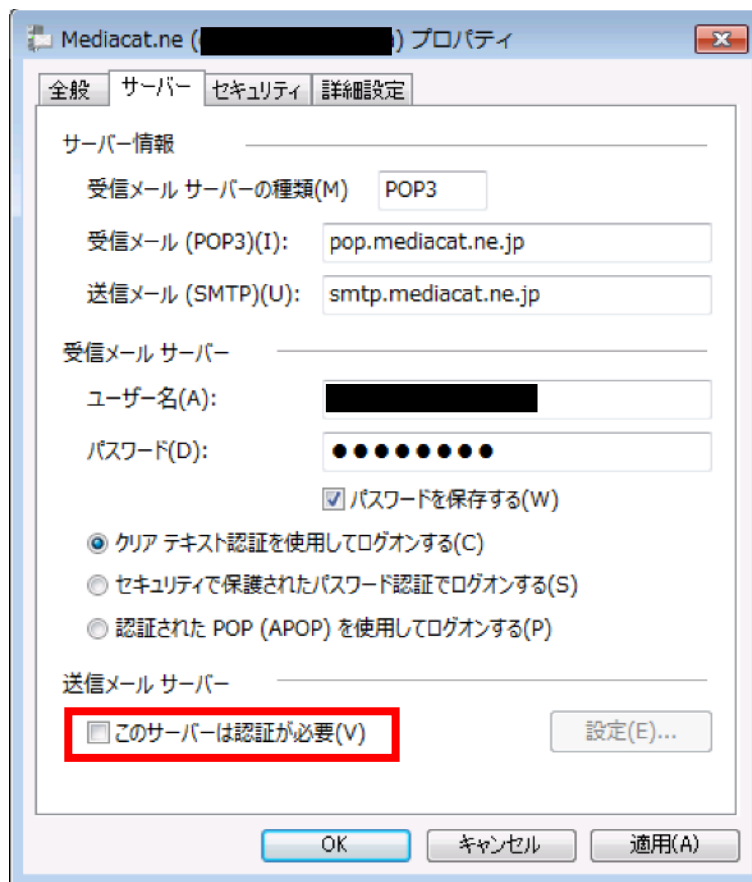
1.2 Windows Live メール

1.2.1 確認方法

- ① Windows Live メール を立ち上げます。
- ② 左側でメディアキャットのアカウントを選択し、[アカウント]タブの[プロパティ]ボタンをクリックします。
- ③ プロパティ画面が開きます。

送信メールサーバーの[このサーバーは認証が必要(V)]のチェックボックスがオフになっている場合、受信操作を行ったあと、送信操作を行った場合に「POP-Before-SMTP」として認証されます。

このまま、設定の変更を行ってください。



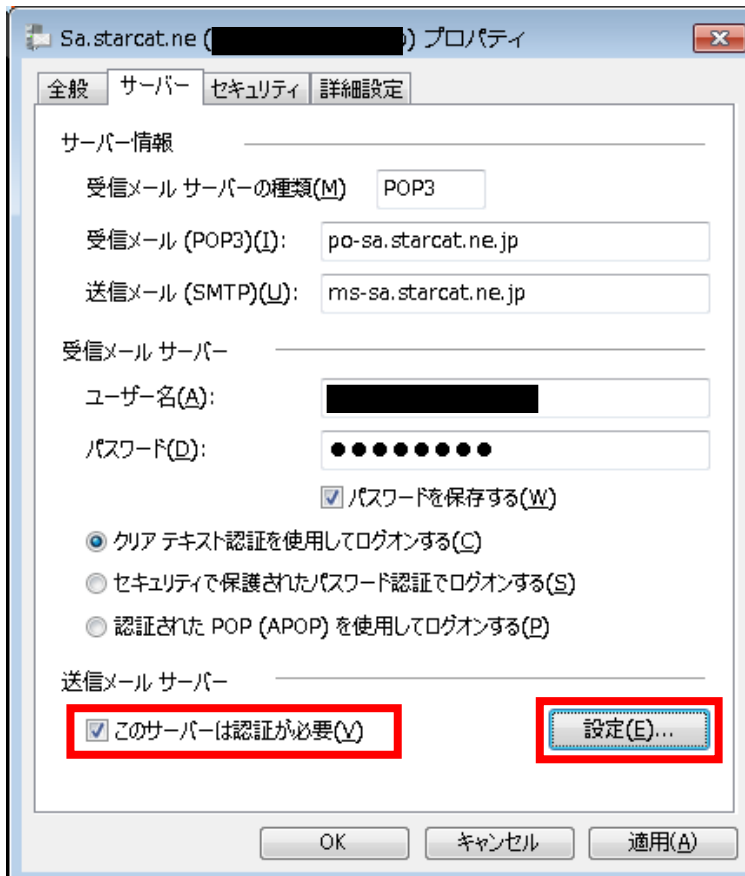
1.2.2 変更手順

※ Microsoft 社は、2017 年 1 月 10 日に、Windows Live メールをサポートを終了しています。

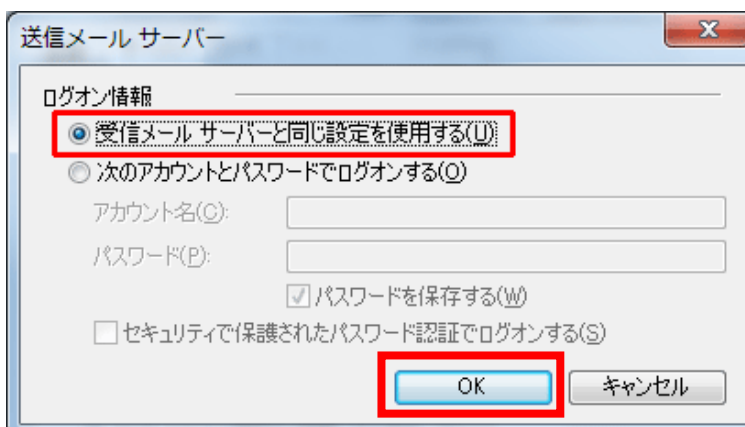
引き続きご利用可能ですが、セキュリティ上、危険ですので、新しいメールソフトを使用していただくことを推奨いたします。

- ① プロパティ画面が開きます。

送信メールサーバーの[このサーバーは認証が必要(V)]のチェックボックスをオン変
更し、[設定(E)...]ボタンをクリックします。



- ② [受信メールサーバーと同じ設定を使用する(U)]を選択し、[OK]ボタンをクリック
します。



- ③ プロパティ画面の[詳細設定]タブを選択します。

[送信メール (SMTP) (O):]の値を、「587」に変更し[OK]ボタンをクリックします。

Sa.starcats.ne () プロパティ

全般 サーバー セキュリティ **詳細設定**

サーバーのポート番号

送信メール (SMTP) (O): **587** 既定値を使用 (U)

☐ このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 (Q)

受信メール (POP3) (I): 110

☐ このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 (C)

サーバーのタイムアウト (I)

短い 長い 1 分

送信

☐ 次のサイズよりメッセージが大き場合は分割する (B) 60 KB

配信

☒ サーバーにメッセージのコピーを置く (L)

☐ サーバーから削除する (R) 5 日後

☒ [ごみ箱] を空にした後、サーバーから削除 (M)

OK キャンセル 適用 (A)

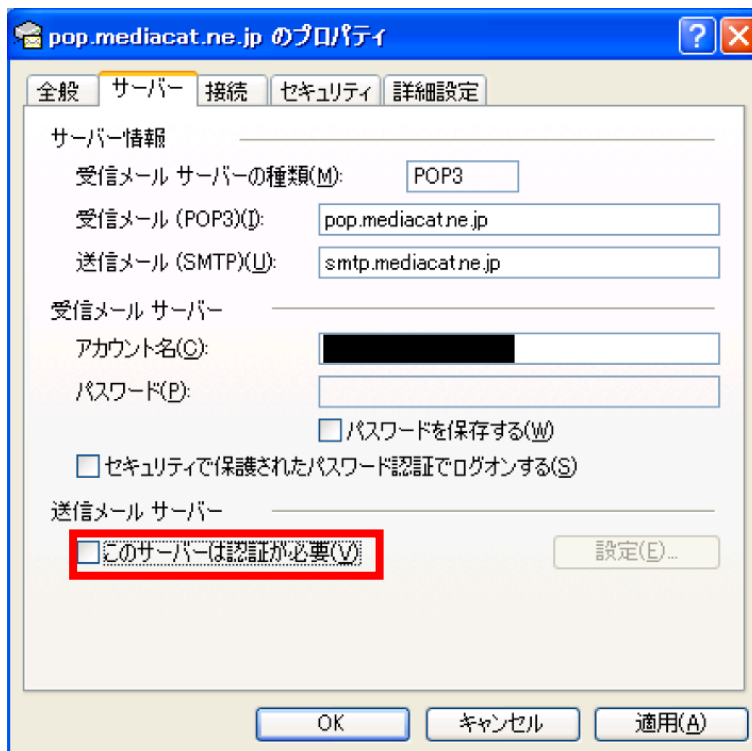
1.3 Outlook Express 6

1.3.1 確認方法

- ① Outlook Express 6 を立ち上げます。
- ② メニューの[ツール(T)]をクリックし表示されるメニューから[アカウント設定(A)...]を選択し、アカウント設定画面を表示します。
- ③ メディアキャットのアカウントを選択し、[プロパティ(P)]ボタンをクリックします。
- ④ プロパティ画面が表示されます。

送信メールサーバーの[このサーバーは認証が必要(V)]のチェックボックスがオフになっている場合、受信操作を行ったあと、送信操作を行った場合に「POP-Before-SMTP」として認証されます。

このまま、設定の変更を行ってください。

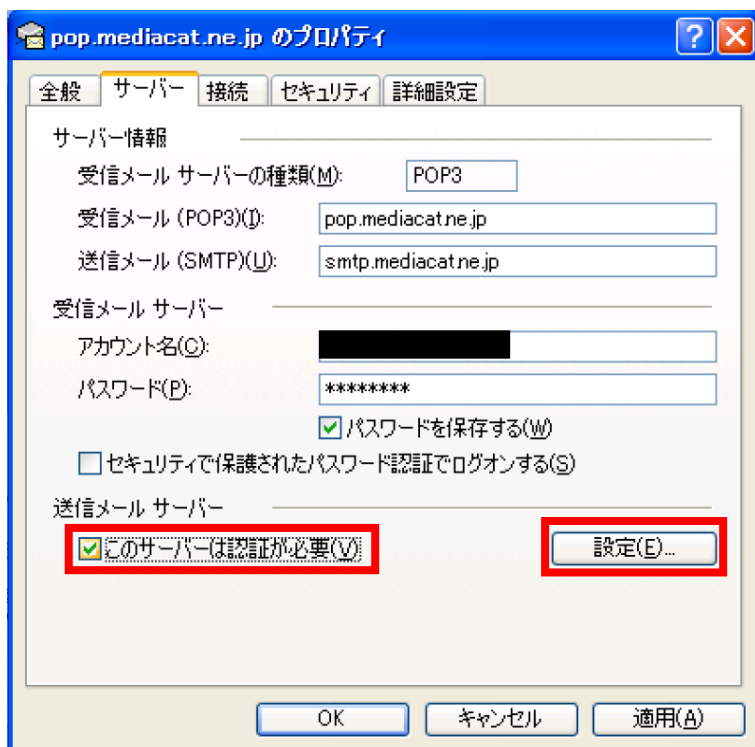


1.3.1 変更手順

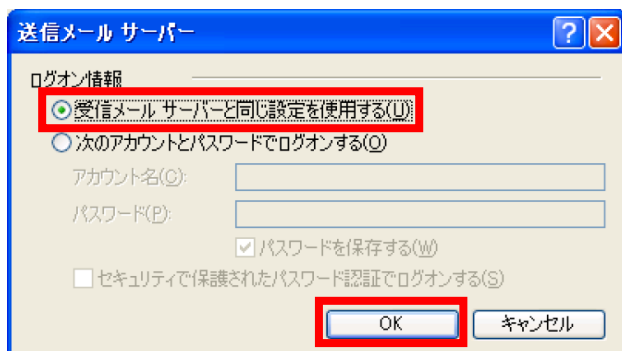
※ Microsoft 社は、2014 年 4 月 8 日に Windows XP のサポート終了とともに Outlook Express 6 のサポートも終了しています。

セキュリティ上、危険ですので、新しいメールソフトを使用していただくことを推奨いたします。

- ① [サーバー]タブを表示し、送信メールサーバーの[このサーバーは認証が必要(V)]にチェックを入れ、[設定(E)...]ボタンをクリックします。

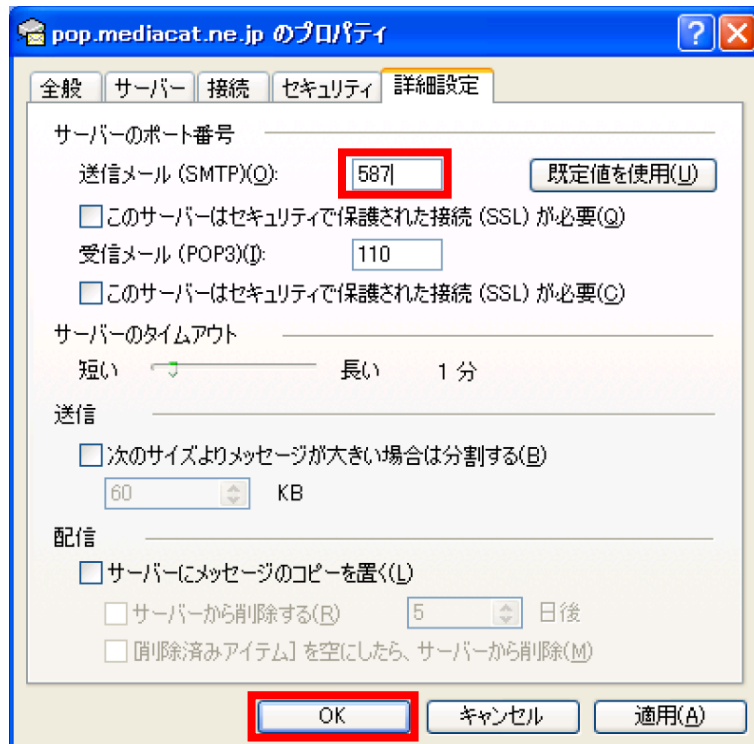


- ② 送信メール サーバー画面が表示されます。
[受信メールサーバーと同じ設定を使用する(U)]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



③ プロパティ画面に戻ります。

[詳細設定]タブを表示し、[送信メール (SMTP) (O):]の値を、「587」に変更し[OK]ボタンをクリックします。



1.4 Outlook 2016

1.4.1 確認方法

- ① Outlook 2016 を立ち上げます。
- ② [ファイル]タブの[情報]から[アカウント設定]で、メディアキャットのアカウントを選択します。
- ③ [アカウント設定]画面が表示されます。
[電子メール]タブの[変更(A)...]をクリックします。
- ④ [アカウントの変更]画面が表示されます。
[詳細設定(M)...]ボタンをクリックします。
- ⑤ [インターネット電子メール設定]画面が表示されます。
[送信サーバー]タブを選択します。
- ① 以下の設定になっている場合、POP-Before-SMTP 方式です。
このまま、設定の変更を行ってください。

The screenshot shows the 'インターネット電子メール設定' (Internet Email Settings) dialog box with the '送信サーバー' (Send Server) tab selected. The '全般' (General) tab is also visible. The '送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)' (Send server (SMTP) requires authentication) checkbox is checked. Below it, the '次のアカウントとパスワードでログオンする(L)' (Log on with the following account and password) option is selected. The 'アカウント名(N):' (Account name) and 'パスワード(P):' (Password) fields are empty. The 'パスワードを保存する(R)' (Save password) checkbox is checked. The 'セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)' (Supports security protected password authentication (SPA)) checkbox is unchecked. The 'メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンする(I)' (Log on to the mail server before sending mail) radio button is selected. The 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons are at the bottom right.

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

☒ 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

☐ 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

☐ 次のアカウントとパスワードでログオンする(L)

アカウント名(N):

パスワード(P):

☒ パスワードを保存する(R)

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

☒ メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンする(I)

OK キャンセル

1.4.2 変更手順

- ① [受信メールサーバーと同じ設定を使用する(U)]を選択します。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

☒ 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

☒ 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

☐ 次のアカウントとパスワードでログインする(L)

アカウント名(N):

パスワード(P):

☒ パスワードを保存する(R)

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

☐ メールを送信する前に受信メール サーバーにログインする(I)

OK キャンセル

- ② [詳細設定]タブを選択し、[送信メール (SMTP) (O):]の値を、「587」に変更し、[OK]ボタンをクリックします。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(I): 標準設定(D)

☐ このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(O):

使用する暗号化接続の種類(C):

サーバーのタイムアウト(T)

短い 長い 1 分

配信

☒ サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

☒ サーバーから削除する(R) 日後

☐ [削除済みアイテム] から削除されたら、サーバーから削除(M)

OK キャンセル

1.5 Outlook 2013

1.5.1 確認方法

- ① Outlook 2013 を立ち上げます。
- ② [ファイル]タブの[情報]から[アカウント設定]で、メディアキャットのアカウントを選択します。
- ③ [アカウント設定]画面が表示されます。
[電子メール]タブの[変更(A)...]をクリックします。
- ④ [アカウントの変更]画面が表示されます。
[詳細設定(M)...]ボタンをクリックします。
- ⑤ [インターネット電子メール設定]画面が表示されます。
[送信サーバー]タブを選択します。
- ⑥ 以下の設定になっている場合、POP-Before-SMTP 方式です。
このまま、設定の変更を行ってください。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

☒ 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(Q)

☐ 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

☐ 次のアカウントとパスワードでログオンする(L)

アカウント名(N):

パスワード(P):

☒ パスワードを保存する(R)

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

☒ メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンする(L)

OK キャンセル

1.5.2 変更手順

- ① [受信メールサーバーと同じ設定を使用する(U)]を選択します。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

☒ 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

☒ 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

☐ 次のアカウントとパスワードでログインする(L)

アカウント名(N):

パスワード(P):

☒ パスワードを保存する(R)

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(O)

☐ メールを送信する前に受信メール サーバーにログインする(I)

OK キャンセル

- ② [詳細設定]タブを選択し、[送信メール (SMTP) (O):]の値を、「587」に変更し、[OK]ボタンをクリックします。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(I): 110 標準設定(D)

☐ このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(O): 587

使用する暗号化接続の種類(C): なし

サーバーのタイムアウト(I)

短い 長い 1 分

配信

☒ サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

☒ サーバーから削除する(R) 14 日後

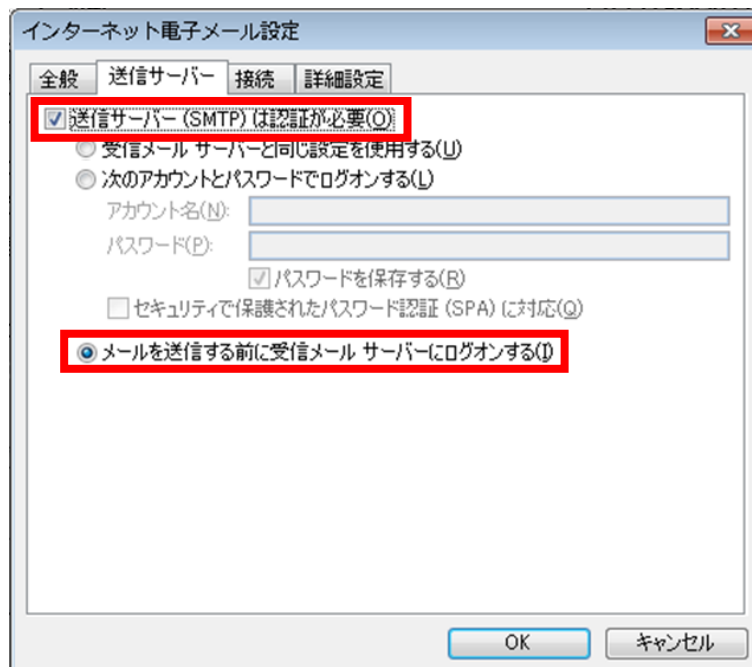
☐ 【削除済みアイテム】から削除されたら、サーバーから削除(M)

OK キャンセル

1.6 Outlook 2010

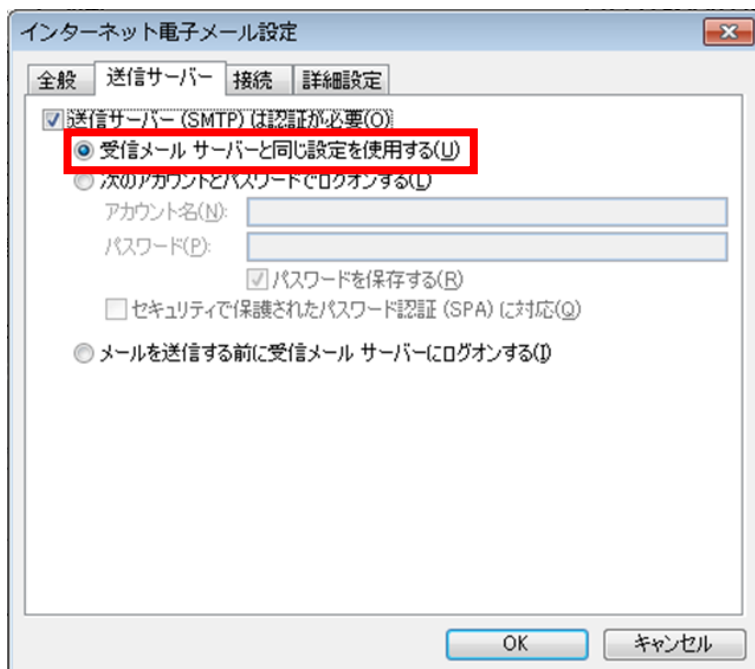
1.6.1 確認方法

- ① Outlook 2010 を立ち上げます。
- ② [ファイル]タブの[情報]から[アカウント設定]で、メディアキャットのアカウントを選択します。
- ③ [アカウント設定]画面が表示されます。
[電子メール]タブの[変更(A)...]をクリックします。
- ④ [アカウントの変更]画面が表示されます。
[詳細設定(M)...]ボタンをクリックします。
- ⑤ [インターネット電子メール設定]画面が表示されます。
[送信サーバー]タブを選択します。
- ⑥ 以下の設定になっている場合、POP-Before-SMTP 方式です。
このまま、設定の変更を行ってください。

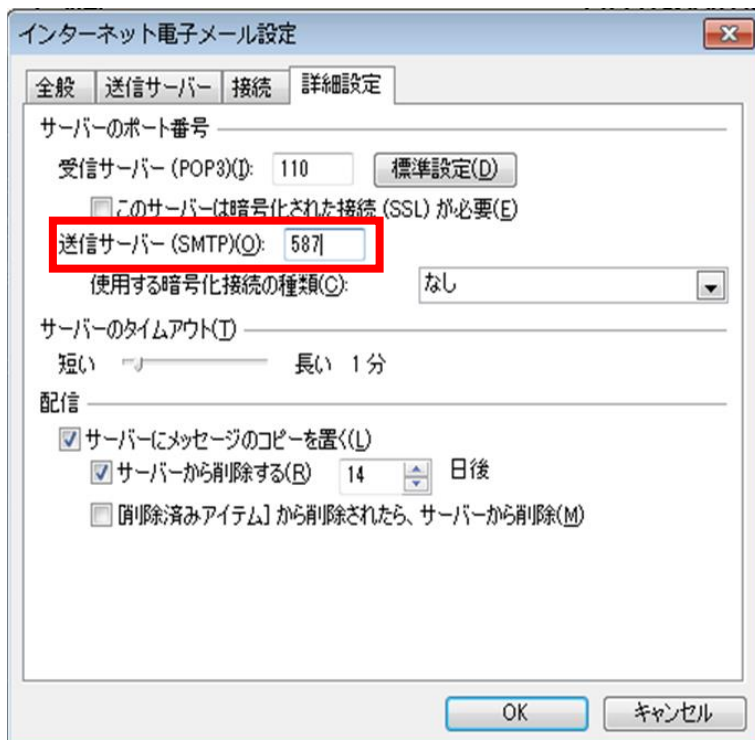


1.6.2 変更手順

- ① [インターネット電子メール設定]画面の[送信サーバー]タブの設定を以下の通り変更します。



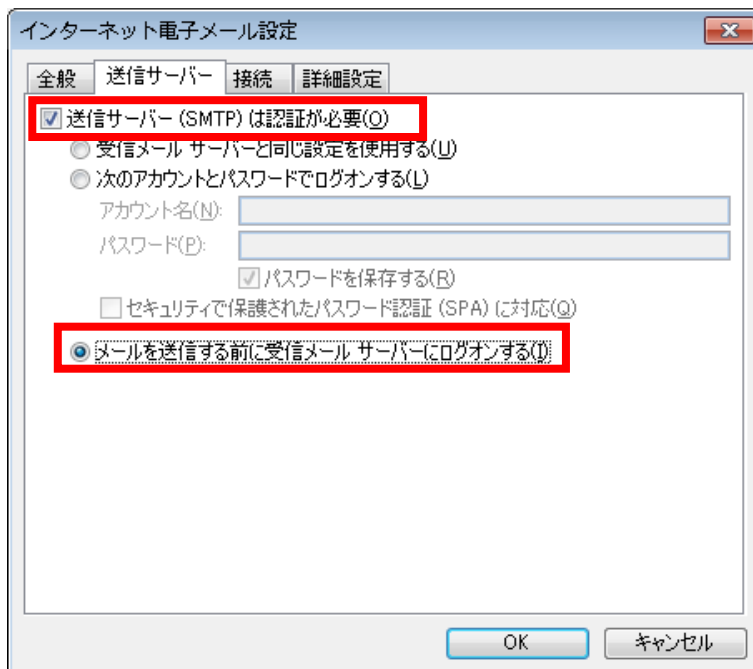
- ② [インターネット電子メール設定]画面の[詳細設定]タブの[送信サーバー(SMTP)(O):]を[587]に変更します。



1.7 Outlook 2007

1.7.1 確認方法

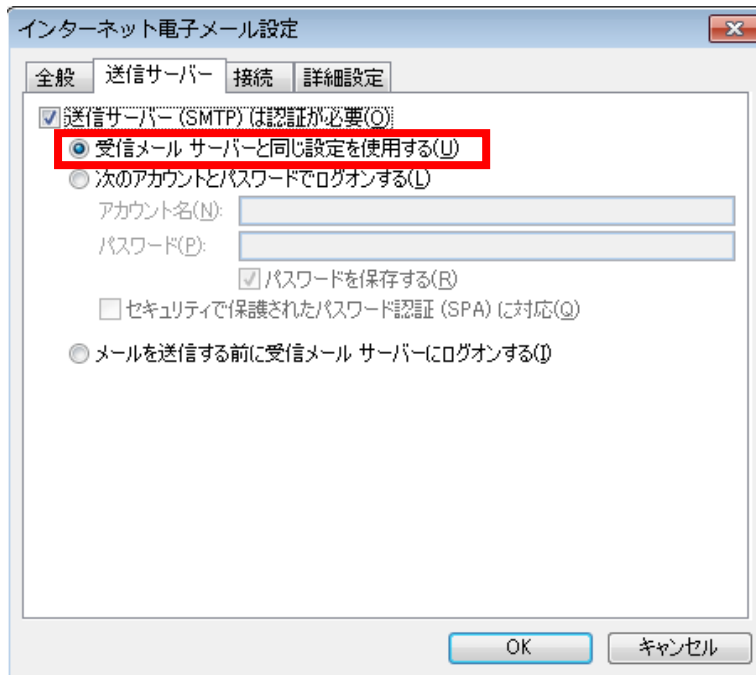
- ① Outlook 2007 を立ち上げます。
- ② メニューの[ツール(T)]をクリックし表示されるメニューから[アカウント設定(A)...]を選択し、アカウント設定画面を表示します。
- ③ メディアキャットのアカウントを選択し、[変更(A)...]をクリックします。
- ④ [アカウントの変更]画面が表示されます。
[詳細設定(M)...]ボタンをクリックします。
- ⑤ [インターネット電子メール設定]画面が表示されます。
[送信サーバー]タブを選択します。
- ⑥ 以下の設定になっている場合、POP-Before-SMTP 方式です。
このまま、設定の変更を行ってください。



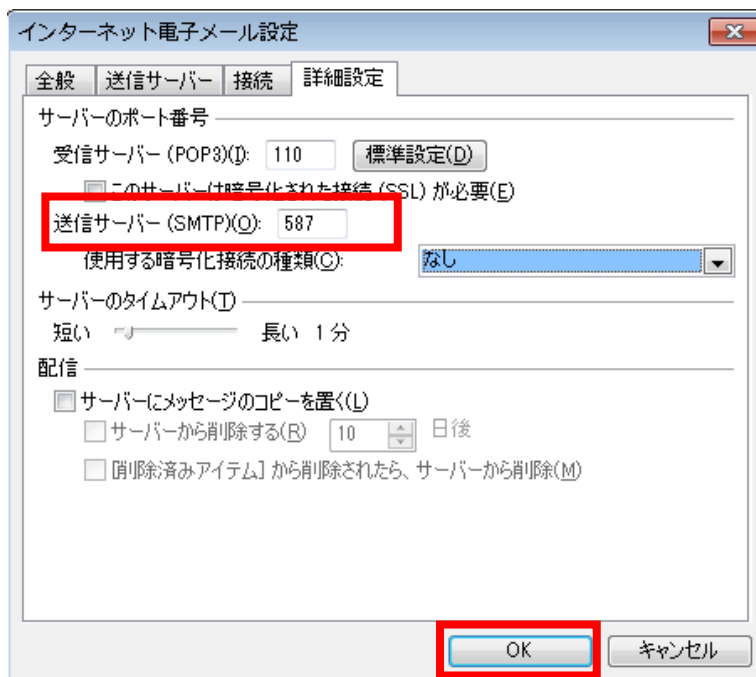
1.7.2 変更手順

※ Microsoft 社は、2012 年 10 月 9 日に Office2007 のメインストリームのサポートを終了し、2017 年 10 月 10 日に、延長サポートの終了を予定しています。
延長サポート終了後は、セキュリティ上、危険ですので、新しいメールソフトへの移行をご検討ください。

- ① [受信メールサーバーと同じ設定を使用する(U)]を選択します。



- ② [詳細設定]タブを選択し、[送信メール (SMTP) (O):]の値を、「587」に変更し、[OK]ボタンをクリックします。

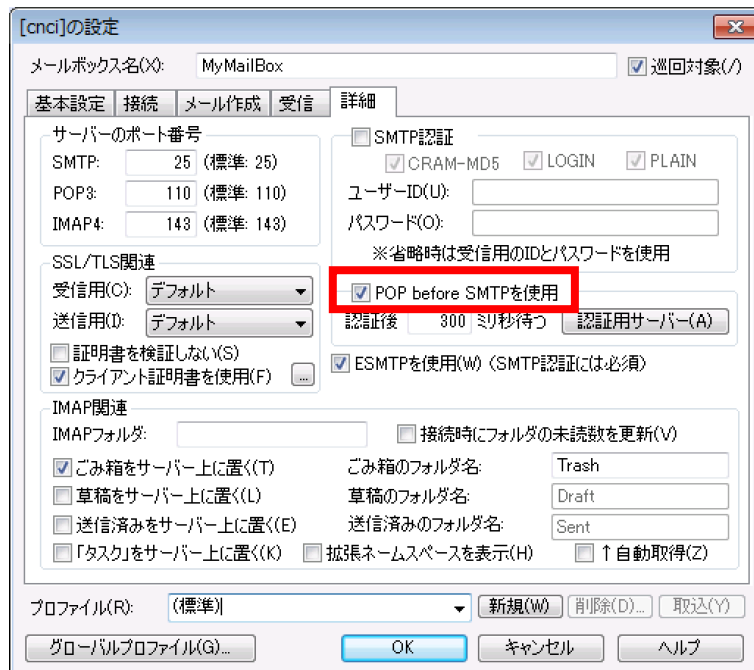


1.8 Becky! Internet Mail Ver.2

1.8.1 確認方法

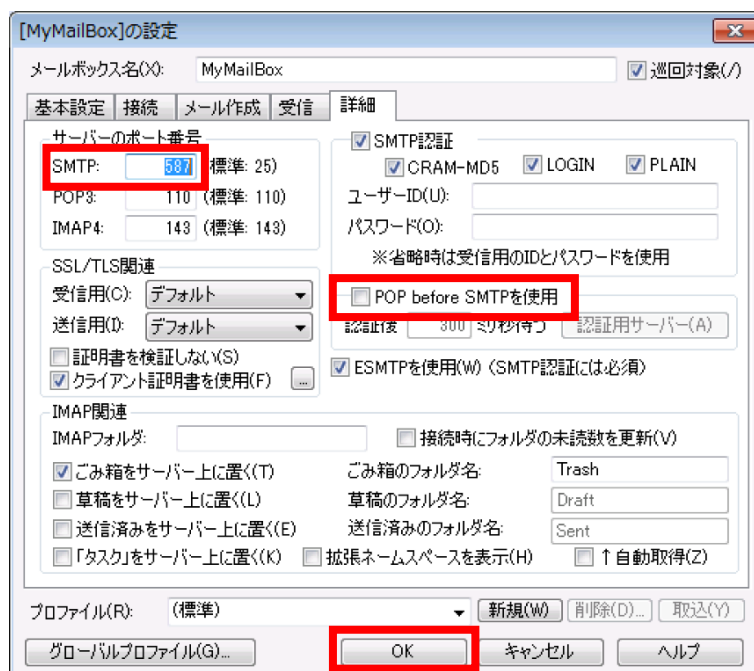
- ① Becky! Internet Mail Ver.2 を立ち上げます。
- ② メニューの[ツール(T)]をクリックし、表示されるメニューから[メールボックスの設定(M)...]を選択し、設定画面を表示します。
- ③ [詳細]タブを選択します。

[POP before SMTP を使用]にチェックが入っている場合、POP-Before-SMTP 方式です。このまま、設定の変更を行ってください。



1.8.2 変更手順

- ① [POP before SMTP を使用]のチェックを外し、[サーバーのポート番号][SMTP:]の値を、「587」に変更し、[OK]ボタンをクリックします。



1.9 Thunderbird

1.9.1 確認方法

Thunderbird には、POP-Before-SMTP の設定はありません。

通常の送受信では、送信してから受信が行われます。

受信操作を行ってから、一定時間内にメールを作成し送信のみを行った場合に、POP-Before-SMTP の状態となります。

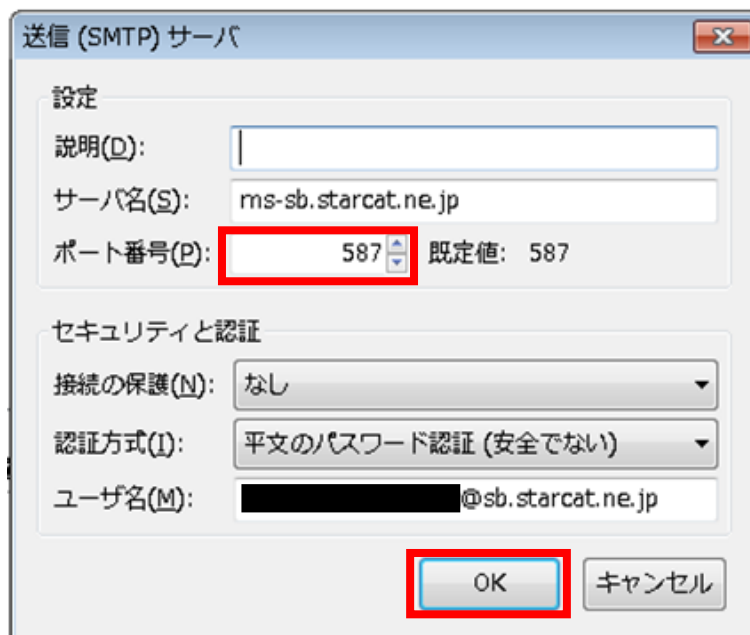
1.9.2 変更手順

- ① メニューの[ツール(T)]をクリックし表示されるメニューから[アカウント設定(S)]を選択し、アカウント設定画面を表示します。

メニューが表示されていない場合は、ツールバー上で右クリックを行い、[メニューバー(M)]をチェックし、メニューを表示させてください。

- ② アカウント設定画面の左側から、[送信 SMTP サーバ]を選んでください。
- ③ 送信 SMTP サーバ画面が表示されます。

[ポート番号(P):]の値を「587」に変更し、[OK]ボタンをクリックします。



- ④ アカウント設定画面に戻ります。[OK]ボタンをクリックします。

2 Mac

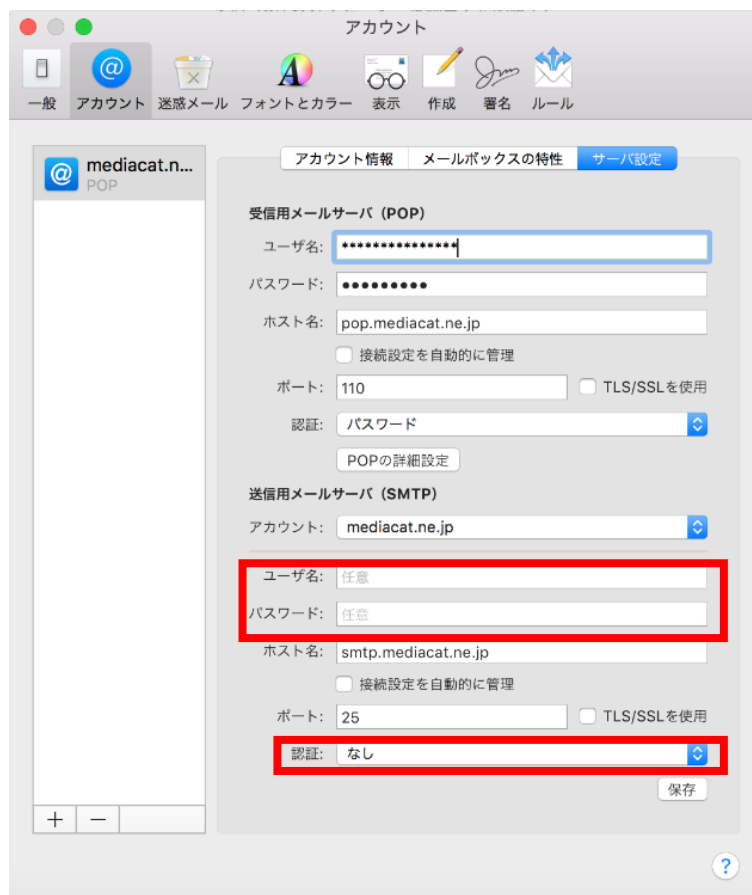
2.1 メール 10.x

2.1.1 確認方法

- ① メールを起動します。
- ② メールメニューから[環境設定...]をクリックします。



- ③ メディアキャットのアカウントを選択します。
- ④ [サーバ設定]のタブを選択し、送信メールサーバ(SMTP)の[ユーザ名:][パスワード:]が設定されておらず、[認証:]が「なし」の場合、受信操作を行ったあと、送信操作を行った場合に「POP-Before-SMTP」として認証されます。このまま、設定の変更を行ってください。



2.1.2 変更手順

- ① 送信メールサーバ(SMTP)の[パスワード:]を、[ポート:]に「587」を入力し、[認証:]は「パスワード」を選択し、[保存]ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the 'アカウント' (Account) settings window. The 'サーバ設定' (Server Settings) tab is selected. The '受信用メールサーバ (POP)' (Incoming Mail Server (POP)) section is visible, with fields for 'ユーザ名' (Username), 'パスワード' (Password), and 'ホスト名' (Hostname). The '送信用メールサーバ (SMTP)' (Outgoing Mail Server (SMTP)) section is also visible, with fields for 'アカウント' (Account), 'ユーザ名' (Username), 'パスワード' (Password), 'ホスト名' (Hostname), 'ポート' (Port), and '認証' (Authentication). The 'ポート' field is set to '587' and the '認証' field is set to 'パスワード'. The '保存' (Save) button is located at the bottom right of the window.

3 iOS

3.1 iOS 10.x (iPhone)

確認方法・変更手順は、iPad と同様です。

3.2 iOS 10.x (iPad) を参照してください。

3.2 iOS 10.x (iPad)

3.2.1 確認方法

- ① [設定]をタップしてください。
- ② 画面左の[メール/連絡先/カレンダー]をタップして、[アカウント]に定義されているメディアキャットのアカウントをタップしてください。
- ③ 送信メールサーバの[SMTP]をタップしてください。
- ④ 送信メールサーバの[ユーザ名][パスワード]の欄が空白の場合、受信操作を行ったあと、送信操作を行った場合に「POP-Before-SMTP」として認証されます。このまま、設定の変更を行ってください。

11:37 充電していません

キャンセル smtp.mediakat.ne.jp 完了

サーバ ☒

送信メールサーバ

ホスト名 smtp.mediakat.ne.jp

ユーザ名 オプション

パスワード オプション

SSLを使用 ☐

認証 パスワード >

サーバポート 25

3.2.2 変更手順

- ① 送信メールサーバのユーザ名とパスワードの欄を入力してください。
- ② サーバポートを「587」に変更し、[完了]をタップします。

11:34 11%

キャンセル smtp.mediakat.ne.jp 完了

サーバ ☒

送信メールサーバ

ホスト名 smtp.mediakat.ne.jp

ユーザ名 mediakat@mediakat.ne.jp

パスワード

SSLを使用 ☒

認証 パスワード >

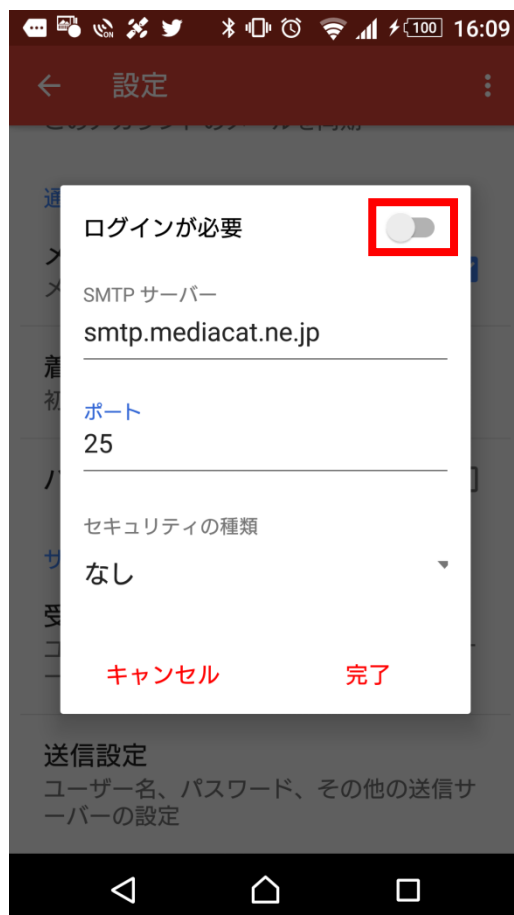
サーバポート 587

4 Android

4.1 Android 6.x

4.1.1 確認方法

- ① Gmail を起動します。
- ② [受信トレイ] 画面の [☰ メニュー] をタップします。
- ③ メニューを下までスクロールし、⚙️ [設定] をタップします。
- ④ メディアキャットのアカウントを選択します。
- ⑤ メニューを下までスクロールし、[送信設定]をタップします。
- ⑥ [ログインが必要]がオフで、ユーザー名、パスワードが表示されておらず、受信操作を行ったあと、送信操作を行った場合に「POP-Before-SMTP」として認証されます。このまま、設定の変更を行ってください。



4.1.2 変更手順

- ① [ログインが必要]をオンにし、ユーザー名、パスワードを入力し、ポートを「587」に設定し、[完了]をタップします。

ログインが必要 ☒

ユーザー名

パスワード

SMTP サーバー
smtp.mediakat.ne.jp

ポート
587

セキュリティの種類
なし

キャンセル 完了

※ 解説

<POP-Before-SMTP の問題点>

POP-Before-SMTP とは、SMTP 送信の前に、POP 認証を行い SMTP サーバーの使用許可を与える認証方式です。SMTP 認証を行わないため、セキュリティが弱い方式です。

SMTP ではユーザー認証の機構をもたないため、不正にサーバーを中継利用されてしまい、サーバー管理者の意図しないところで SPAM メールの踏み台にされてしまう可能性があります。

〔参考 URL〕

<https://www.ipa.go.jp/security/awareness/administrator/remote/capter4/1.html>

<SMTP 認証方式(SMTP-AUTH)>

電子メール送信時に送信者がユーザー本人であることを確認するために、SMTP サーバーでユーザー認証を行う（メール送信時にユーザーID とパスワードが必要）方式です。

迷惑メールの送信や第三者の中継によるいたずらを防ぐユーザー認証方式です。